

(7) 新たな担い手の確保と女性農業者の経営参画促進

～新規就農者の確保・育成とビジョン作成によるステップアップ～

【要 約】

新規就農者の確保に向け、関係機関と連携した就農支援により平成30年度から令和2年度（9月末）まで84名の新規就農者（新規参入者、親元就農者含む）が就農した。

意欲的な女性農業者を対象に、経営ビジョン作成研修を開催し、平成30年度から令和2年度の3年間で25名が「経営ビジョン(我が家の農業経営の将来像)」(以下、経営ビジョン)を作成し、経営参画意識が高まった。

【目 的】

農業就業人口が減少する中、新規就農者を育成していくことが重要である。このため、八女地域農業振興推進協議会に設置された「新規就農支援対策会議」において、就農希望者を就農・定着まで支援する体制を構築し、新規就農者の確保を行うとともに、栽培技術や経営管理についての支援を強化し、育成・定着を図る。

女性農業者については、意欲的な女性農業者を対象に研修会の開催や先進的女性農業者との交流、「経営ビジョン」の作成支援等を行い、経営参画促進を図る。あわせて女性農業者リーダーの育成・活動支援や女性起業家等に対する活動支援を行う。

1 活動対象の概況

就農相談者（平成30年度から令和2年12月まで）	延べ226名
新規就農者（平成30年度から令和2年9月まで）	84名
女性農業者（経営ビジョン研修受講者 平成30年度～令和2年度）	34名
女性農村アドバイザー	13名
女性起業家及び起業志向者	58名

2 活動の内容等

(1) 新規就農者の確保

「新規就農支援対策会議」は県から認定を受けた教育機関であり、八女地域の主要品目であるイチゴ、トマト、ナス、みかん、ぶどう、なし、キウイ、キク、茶の品目において研修受入体制を整備した。就農を決断した就農希望者に対しては農業次世代人材投資事業（準備型）を活用し、JA就農支援センターや先進農家の研修生として栽培技術、農業経営の知識習得を支援している。

(2) 新規就農者の育成

新規就農者の早期経営確立に向け、就農1～3年目を対象にイチゴ、ナス、トマトの「栽培基礎セミナー」(写真1)や「経営管理基礎講座(簿記)」を開催するとともに、農業次世代人材投資資金（経営開始型）交付対象者には、関係機関と個別巡回指導を行い、就農後の定着に向けた支援を行っている。

(3) 女性農業者の経営参画促進

経営ビジョン作成研修会を開催し、経営品目に応じた栽培技術や経営管理の講義や視察研修による先進的女性農業者との交流などを行った(写真2)。また、過

去の経営ビジョン作成者を対象にステップアップ研修を開催した。

(4) 女性農業リーダーの育成

女性農村アドバイザーを対象に、管内現地研修や管外視察研修、JA幹部との意見交換会等を開催し、女性農業リーダーとしての資質向上を図った。

(5) 女性起業者支援

商品開発に取り組んでいる、または志向している女性農業者に対し、県主催の起業家育成塾や衛生管理講座の受講による知識習得を支援した。

3 活動の成果

(1) 新規就農者の確保

平成30年度から令和2年度（9月末）までに84人が就農した。

(2) 新規就農者の育成

新規就農者の就農5年目での定着率は、平成25年度就農者が86%、平成26年度就農者が96%と高い水準であった。

(3) 女性農業者の経営参画促進

経営ビジョン作成研修受講者が家族と話し合い、経営目標や具体的取り組み方を定めた「経営ビジョン」を作成することで、経営参画意識の向上が図られた。

(4) 女性農業リーダーの育成

3年間（平成30年度～令和2年度）で新たに7名の女性農村アドバイザーが認定された。県主催の経営発展塾に3年間（同上）で26名の女性農業者が参加（うち女性アドバイザー及びOBが13名）するなど、女性農業リーダーとしての資質向上やOBを含めたネットワークづくりが図られた。

(5) 女性起業者支援

県主催の起業家育成塾（平成30年度～令和2年度）に5名、衛生管理講座（令和元年度～令和2年度）に延べ18名が参加し、起業（商品開発）のための各自の課題整理や知識習得等のスキルアップにつながった。



写真1 基礎セミナーで栽培管理を学ぶ新規就農者



写真2 経営ビジョン研修（ブドウ栽培・経営）

4 今後の見通し又は課題

新規就農者については、就農後5年間の計画である青年等就農計画の目標所得達成を支援し、地域の担い手となる認定農業者へのステップアップを働きかける。

女性農業者については、関係機関と連携し、研修内容の充実を図り、経営参画の促進や女性農業リーダー育成につなげる。